



●本日の司会

（曳地 義正 SAA）



今回は、簡単なバージョンの試合でしたので、ルールも分かりやすく、皆さん気軽に楽しむことが出来たのではないかと思います。

本日の例会終了後、理事会を開催いたしますので、理事の方々はご出席をお願いいたします。

●開会点鐘

（岡野 景子会長）

●ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

●会務報告

（岡野 景子会長）



11 月 17 日（金）今年最後の多摩中グループ協議会が八王子で開催されました。指田幹事と私で参加してまいりました。その中で、米山奨学生の受け入れクラブが少ないということで、是非検討して頂きたいというお話がございました。当クラブとしましては、

今年度と次年度は米山奨学生の受け入れはしない予定でありますので、次々年度以降、検討をお願いしたいと思っております。

11 月 18 日（土）昭和公園「昭島陸上競技場」にてクリケット祭が開催されました。当クラブからは、ご家族含め 19 名の皆様に参加をして頂きました。クリケットは、それ程走らず、年齢も関係なく出来るスポーツだと思えますので、是非皆様、春も開催されますので、ご参加よろしくをお願いします。

●幹事報告

（指田 裕士幹事）



会長も報告をされていましたが、クリケットの件を補足させていただきます。このクリケット祭りは、扶桑建設さんがサポートをされている大会でして、10 チーム程出場をしました。そのうち 2 チームが当クラブより出場いたしました。チームの中から MVP を選出しまして、今回は宇田川会員と菅野会員となりました。

●卓話「ロータリー財団について」

須田 宏樹ロータリー財団委員長



皆さんこんばんは。今月はロータリー財団月間です。田中地区ロータリー財団委員長の趣旨で、各クラブの財団委員長が、財団について卓話をするということになりまして、9 月から 4 回ぐらいの卓話養成講座というのをオンラインでやりました。私も 2 回程参

加をしまして、本日皆様にご説明をさせていただきます。

本日は、ロータリー財団の仕組みと 3 つのプログラム、最後に Q&A という流れでお話をさせていただきます。TRF（ザ・ロータリーファンデーション）＝ロータリー財団は資金を配分する非営利団体で、これはあくまでもロータリーに紐づいている財団です。当クラブが毎年行っている「海外に子ども用車椅子を送る事業」などのロータリー活動に対して、寄付を集めて資金面でそれをサポートする役割を担っています。財団は数百億のお金を持っています。アメリカ本部のエバンスというところで運用をしています。RI（国際ロータリー）は、世界中のロータリアンから集めた分担金で運営をしており、これは国際ロータリー理事会が運営をしておりますので、別の物になります。

財団には 3 つのプログラム（ポリオプラスプログラム・補助金プログラム・ロータリー平和センタープログラム）がございます。間違えやすいのですが、青少年交換留学、インターアクト、ローターアクト、米山、これらは財団には入っていません。

ポリオプラスは 1979 年にロータリーがワクチン接種の取り組みを始めました。ポリオは脊髄性小児麻痺とも呼ばれ第二次世界大戦くらいから流行していた病気です。マイクロソフト創業者のビルゲイツさんも 1988 年くらいからポリオ撲滅に非常にご協力を頂いています。現在、ポリオというのは非常に少なくなってきて、今年の 1 月から 8 月 22 日までの統計ですけれども、世界でまだ 7 人しかいないんです。現在 99.9 パーセントまで根絶しましたが、まだ終わってないということなので、皆さん力を入れていきます。

次に補助金プログラムについてですが、補助金には、地区補助金とグローバル補助金の2種類がございます。当クラブが使っている車椅子の補助金は地区補助金で賄っております。グローバル補助金と言いますのは、大規模な国際的活動を支援するもので、例えば、2750地区ですと日野ロータリークラブさんがアフリカに井戸を掘るということで、こちらを使って活動をしています。地区補助金のほうは、毎年4月から5月に申請が承認され補助金がクラブに振り込まれます。この申請が中々大変な作業になりまして、本年度委員長の中澤会員も経験されていると思いますが、1度経験して頂くと内容がよく理解できるかと思えます。

ロータリー平和センタープログラムについてですが、こちらは平和フェローシップ(奨学金)を通じて世界的なネットワークを築いています。毎年、提携大学で学ぶフェローが世界中から選ばれ、全額支給の奨学金が授与されます。ロータリー平和センターはこれまで1700人以上のフェローを輩出し、これらのフェローは世界中の政府、NGO、教育機関などで活躍しています。平和センターは我が2750地区の中の国際基督教大学の中にございます。世界に7つある平和センターの1つが東京都三鷹市にあるわけです。

寄付金には、ポリオ基金の他に年次基金と恒久基金がございます。年次基金は、補助金の主な活動の財源になります。こちらは財団の中で運用をしています。恒久基金は、毎年クラブの会長、あるいはパスト会長にご寄付を頂いています。内訳としましては、ポリオプラス基金は会員1人あたり30ドル、年次基金は1人あたり150ドル、恒久基金は、会員数99人までのクラブは1名1000ドル、100名以上のクラブは2名2000ドルを目標としています。当クラブはこの目標を達成しましたので、先般、ガバナー賞をお渡ししました。こちらは3年後の地区補助金が1000ドルアップすることをお約束するものです。



●ニコニコBOX

(桜井 慶太親睦委員)



◎内藤会員

本日の卓話、須田さんご苦労様です。

○岡野会長

11/18(土)多くの会員とご家族の皆様、クリケット祭ご参加ありがとうございました。楽しかったです。須田ロータリー財団委員長、卓話ありがとうございました。

・指田幹事

須田ロータリー財団委員長、本日卓話よろしく申し上げます。

●出席報告

(磯野 昇出席委員)



会員数	55名
出席義務会員	54名
本日の出席	34名

●次週例会予定

(荒川 義昭プログラム委員長)



12月6日(水)  
卓話「青少年野球教室について」  
菅野晋央青少年委員長

●閉会点鐘

(岡野 景子会長)